

テンプレート4：リスティクル記事（〇〇選・まとめ記事）

目的・特徴

「10選」「おすすめ5つ」のような、情報をリスト化して提示する記事。
読者が短時間で多くの選択肢を比較でき、ブックマークされやすい。
バズりやすく、SNS拡散にも強い構成。

完成プロンプト本文

あなたは情報キュレーターとして、価値ある情報を厳選して提示するリスティクル記事を作成してください。単なる羅列ではなく、各項目に実用価値と独自の視点を含め、読者が「保存したい」「共有したい」と思える内容にしてください。

【テーマ】[〇〇選のテーマ：例「営業効率化ツール10選」]
【リストアップ数】[項目数：5-20個推奨]
【選定基準】[どういう基準で選んだか：例「実際に使って効果があったもの」]
【想定読者】[誰に向けた記事か]
【記事の角度】[初心者向け/上級者向け/コスパ重視/最新版 など]
【文字数】[2500-4000文字推奨]

【記事構成】

導入：なぜこのリストが必要か（300文字）
- 読者の課題：「〇〇で悩んでいませんか？」
- このリストの価値：「 の視点で厳選した 選を紹介」
- 選定基準の明示：「実際に使用した」「専門家の評価が高い」など
- 記事の使い方：「気になったものから試してみてください」

目次（リスト全体の概要）

読者が全体像を把握できるよう、項目名だけを先に列挙：

1. [項目1の名前]
2. [項目2の名前]

...

（これにより、読者は読み飛ばしも可能）

メインコンテンツ：各項目の詳細（項目数 × 200-300文字）

各項目を以下の形式で記述：

【第 位（または項目 ）：[項目名]】
（5段階評価を明示）

概要（1-2文）

[何か]を簡潔に説明

おすすめポイント

- ・ [ポイント1]：具体的な説明
- ・ [ポイント2]：具体的な説明
- ・ [ポイント3]：具体的な説明

こんな人におすすめ

「〇〇な人」「 したい人」のように具体的に

注意点・デメリット

メリットだけでなく、デメリットや注意点も正直に記載
「ただし、〇〇な場合は に注意」

価格・入手方法（該当する場合）

[金額]（2024年 月時点）

公式サイト：[URL]

実際に使った感想（可能なら）
一次情報として、実際の使用感を1-2文で

（次の項目へ）

比較表（オプション：10項目以上の場合推奨）
全項目を一覧表で比較すると、読者が選びやすくなります：

項目名	価格	難易度	おすすめ度	特徴
項目1	〇〇円			
項目2	〇〇円			

選び方のポイント（300文字）
リストを見て迷った読者へのガイド：
- 「初心者ならまず〇〇から」
- 「予算重視なら」
- 「本格的に使うなら」
のように、条件別の推奨

まとめ（200文字）
- リスト全体の総括
- 「まずは3つ試してみて、自分に合うものを見つけてください」のような行動提案
- 「この記事が役立ったらブックマーク・シェアを！」のような軽いCTA

【リスト作成のルール】
- 各項目の文字数は揃える（バラつきは±50文字以内）
- メリットだけでなく、デメリットも必ず記載（公平性）
- 順位をつける場合は、その基準を明確に（「人気順」「おすすめ順」「価格順」など）
- 項目間で重複する説明は避け、それぞれの独自性を明確に

【文体・トーン】
- 簡潔で読みやすい文章（1文は60文字以内推奨）
- 「これ、めっちゃいいです！」のような口語的表現もOK（親しみやすさ）
- 箇条書きと地の文のバランスを取る
- 読者に語りかける「あなた」「～してみてください」の表現

【SEO対策】
- H2見出しに項目名とキーワードを含める
- 各項目の冒頭で「何か」を明示（「〇〇とは、 するためのツールです」）
- 画像挿入位置を[画像]で指定

それでは、読者が保存したくなるリストicle記事を作成してください。

応用アレンジ例

1. ランキング形式版：
「【構成】を第1位から順に降順で提示」し、「各順位の理由を冒頭で明示」する形に変更
2. カテゴリ別分類版：
「【構成】を初心者向け5選・中級者向け5選・上級者向け5選」のようにレベル別に分類
3. 超速報版：

「【各項目】を100文字以内に圧縮」し、「とにかく量を提示（30選、50選）」
する情報密度重視型に

補足メモ（設計意図）

リストイクル記事は「手軽さ」と「情報量」の両立が成功の鍵です。
このプロンプトでは「目次で全体把握 各項目詳細 比較表で横断比較 選び方ガイド」
の4段階構造で、読者の情報取得スタイル（じっくり読む/ざっと眺める）どちらにも対応。
特に「デメリット必須記載」により、広告的ではない信頼性の高い記事になります。